

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2019/7/31

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 9.5	7/23	0	18.4	31.71	0	0	0	10	0	
		5	17.6	32.06	0	0	20	150	0	
		10	17.3	32.07	0	0	30	300	10	Di10
		15	17.1	32.09	0	0	90	200	20	Di20
		20	17.1	32.09	0	0	30	130	20	Di20
		25	16.9	32.12	0	0	0	150	0	
八雲 噴火湾北西部 1.8	7/25	0	17.3	32.08	0	0	0	60	20	Di20
		5	17.2	32.09	0	0	20	140	20	Di20
		10	17.0	32.09	0	0	30	230	30	Di20,Dt10
		15	16.6	32.19	0	0	60	120	0	
		20	15.5	32.32	0	0	20	50	0	
		25	14.9	32.42	0	0	10	40	0	
		30	-*	-	0	0	10	60	0	
鹿部 噴火湾湾口部 8.0	7/24	0	14.8	32.38	0	0	50	20	0	
		10	14.6	32.43	0	0	30	20	0	
		20	13.8	32.54	0	0	10	20	0	
		30	11.0	32.75	0	0	30	30	0	
		40	8.9	32.74	0	0	10	10	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェンガ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾北西部、噴火湾湾口部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾北西部、噴火湾湾口部に出現しています。

噴火湾東部の7月下旬の水温は16.9~18.4°C、噴火湾北西部の7月下旬の水温は14.9~17.3°C、噴火湾湾口部の7月下旬の水温は8.9~14.8°Cです。

*八雲の30mの水温と塩分は、測定の際の不具合で欠測でした。

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2019/7/24

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/17	0	16.3	32.31	1,180	0	10	210	40	Di30,Dru10
太平洋中部		10	16.4	33.26	90	0	0	10	0	
8.5		20	14.9	33.25	220	0	0	30	10	Dn10
		30	12.7	33.59	110	0	10	30	80	Dn70,Di10
知内	7/19	0	19.8	34.09	0	0	0	0	70	Dm70
津軽海峡		10	18.9	34.02	0	0	0	0	10	Dm10
15.0		20	18.0	34.06	0	0	0	0	10	Dm10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部で1,000細胞/Lを超えて出現しており、今後の毒性値の推移に注意が必要です。麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部と津軽海峡に出現しています。

太平洋中部の7月中旬の水温は12.7～16.4°C、津軽海峡の7月中旬の水温は18.0～19.8°Cです。

(担当: 夏池真史・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2019/7/18

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/5	0	13.9	32.45	130	0	10	30	50	Dn10,Di20,Dru20
太平洋中部		10	9.7	32.49	60	0	10	60	20	Dn20
8.0		20	11.3	32.96	10	0	30	50	40	Dn40
		30	10.9	33.06	40	0	10	20	0	
森	7/8	0	14.9	32.25	0	0	10	20	0	
噴火湾南西部		10	13.6	32.35	10	50	90	40	20	Dn10,Di10
8.0		20	12.8	32.53	0	90	50	80	10	Dn10
		30	11.0	32.55	0	50	20	10	10	Dn10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部で100細胞/Lを超えて出現し、噴火湾南西部にも出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾南西部と噴火湾湾口部に出現しています。

太平洋中部の7月上旬の水温は9.7~13.9°C、噴火湾南西部の7月上旬の水温は11.0~14.9°Cです。

(担当:夏池真史・金森 誠)